

令和4年度事業報告

<情報提供事業>

○楽しい子どもニュース「アッタくん」の発行

毎月発行で201号から211号まで計12回発行した。イベントの告知や報告だけでなく、スタッフの紹介を載せたり、地域で活躍されている方やB-Net子どもセンターに関わる地域の方々を紹介したりすることができた。

現在、町内2つの小学校(酒々井小学校、大室台小学校)、スーパー(ナリタヤ、SEND0、タイヨー、JR酒々井駅、公共施設(酒々井町役場、酒々井町中央公民館、プリミエール、社会福祉協議会)、まがりや、みんなの居場所KOKO、順天堂大学などに配布させていただいている。

内 容	実施日	収 入	支 出	
情報紙 楽しい子どもニュース 「アッタくん」の発行	毎月1回1100部発行	0	情報紙用紙代	33,249
			印刷代	23,920
	合 計	0		57,169

○ホームページの運営

内 容	実施日	収 入	支 出	
インターネット	随時	0	アサヒネット	56,760
	合 計	0		56,760

○B-Net 掲示板

B-Net子どもセンターのフェンスに設置しているB-Net掲示板を活用し、イベントの告知や町のイベントのポスターを掲示した。B-Netの活動に参加して下さっている子どもの保護者だけでなく、地域の方々に情報を提供することができた。今年はポスターをほぼ毎回のイベントで作成し、広報活動に力を入れた。また、町のイベントのポスターの掲示も積極的に行い、情報提供事業の役割を果たしている。

<子育て支援事業>

子ども教室「アッタくん」やイベントに参加する子どもたちから、年間登録料として2,000円（子ども教室運営費1,200円、年間保険料800円）を徴収した。登録者数は21人であった。保険はスポーツ安全保険で、活動中、通常経路往復中の事故に対応し、保険期間令和4年4月1日から令和5年3月31日まで適用され、保険加入者数は51人であった。

		収入	支出
B-Net 登録人数	21人	42,000	
スポーツ安全保険加入	21人		16,800
スポーツ安全保険加入スタッフ	30人		50,250
合計		42000	67,050

§ 自然体験・文化体験・宿泊体験

平成23年から小学校で新たな学習指導要領が導入された。令和4年度のB-Netもその中に記載されている「生きる力」の育成を目指し、様々なイベントを行うことを予定していた。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、実施することができなかったイベントがあった。そのような状況下でも、稲刈り、芋掘り、クリスマスイベントなど様々なイベントを行うことができた。その際には、新たな気づきや知識を得られる内容のイベント企画運営を行なった。本事業を通し、子どもたちの中に何かしらの成長や感情を残していけたらと、子どもたちとの関わりの中で感じられた。また、スタッフも子どもたちや地域の方々との関わり、イベントを企画運営する考え方の習得等、貴重な経験を通し、成長を得ることができる重要な事業であった。

4月の筍掘り、5月と9月の田植え、稲刈り、7月の和菓子、11月のそば打ち、5月と11月の苗植え、芋掘り、12月のクリスマスイベント、1月のお正月イベント、2月の星空合宿、一年間行ったアッタくんは子どもゆめ基金から助成金をいただくことができた

《子どもゆめ基金助成金事業》

内 容	参加人数	収 入	支 出	収支
4月24日 筍掘り タケノコ王に、俺はなる！ 場所：里山	助成金 参加費小学生30人 幼児2人 保護者6人 保険料	30,793 18,500 400	39,693	10,000
5月15日 田植え 9月10日 稲刈り みんなで育てようお米ちゃん！！ 場所：根古谷	助成金 田植え参加費小学生3人 幼児1人 保護者2人、 稲刈り参加費小学生12人 幼児1人 保護者3人 保険料	70,565 1,650 4,650 1,360	106277	-28052

5月23日 芋の苗植え 11月3日 芋掘り 秋だ！芋掘りわっしょい！！	助成金 苗植え参加小学生7人 幼児2人 保護者2人 芋掘り参加者小学生27人 幼児4人 保護者3人 保険料	64,998 3,000 16,000 3,130	86,875	253
7月9日 和菓子作り 日本の味覚を味わおう！レッツ 和菓子作り！	助成金 参加小学生15人 幼児1人 保護者2人 保険料	30,000 8,750 260	29,438	9,572
11月27日 そば打ち そば打ち名人に弟子入り！	助成金 参加小学生19人 保険料	25,000 9,500 1,820	49,314	-12,994
12月18日 クリスマス 酒々井にサンタがやってくる！ B-Net クリスマス	助成金 参加小学生20人 保険料	33,529 10,000 1,560	35,089	10,000
1月8日 正月 あけましておめでと卯！2023	助成金 参加小学生20人 保険料	36,000 10,000 1,560	29,495	18,065
2月11～12日 B-Net 星空合宿	助成金 参加小学生30人 スタッフ20人 保険料	136,000 17,000 2,340	304,703	3,637
B-Net 子ども教室アッタくん 夏休み、冬休み、春休みを除く、 毎週木曜日 39回	助成金 登録人数21人 スタッフ平均	249,000 43,000	290,830	1,170
	子どもゆめ基金合計 参加費、保険料など	675,885 307,480		

※収入の上段は子どもゆめ基金からの助成金で、そば打ち、お正月、星空合宿、B-Net 子ども教室アッタくんは確定されていないので変更有り。

《その他事業》

内 容	参加人数	収 入	支 出	収支
7月30日 真夏の夜の 肝試しツアー	参加小学生 35 人 保険料	7,000 3,100	10,038	62
8月1、5日 学習会	参加小学生 0 人 保険料	1,040	1,761	-721
9月23日 跳び箱何段 飛べる？ 場所：酒々井小体育館	参加小学生 23 人 幼児 1 人 保険料	7,050 1,820	2,520	6,350
10月15日 ハロウィン大運動会 場所：酒々井小体育館	参加小学生 27 幼児 3 人 保護者見学 3 人 保険料	8,550 3,640	3,780	8,410
3月19日 スペシャルアッタくん	参加費小学生	6,300 1,690	9,493	-1,503

○ B-Net 子ども教室 アッタくん

本年度の B-Net 子ども教室は「放課後に子どもたちが安全に、そして安心して遊べる“居場所”をつくること。また、子どもたち自身でルールを考えて遊びを展開することで、創造性や協調性を養う」ということを目標に活動を行ってきた。近年、大幅な登録人数減少が課題とされたが、今年度は昨年度より参加人数も増加し、一年間を通して参加人数は平均 11 人ほどであった。参加してくれた子どもも年度初めからいた子や、年度の途中から参加してくれた子なども学年に関係なく互いに協力し、助け合いながら楽しく活動していた。また、子ども同士で声を掛け合い、屋内で過ごすことの多い子どもが外で遊ぶことが増えたなど子どもたちの間で厚い友情関係が生まれ、子どもたちの成長を強く感じることもできた。また、ハロウィン、クリスマス、紙飛行機大会、バレンタインのお絵描きクッキーなど子どもたちの興味関心に合わせ、学生スタッフが企画して行った。

B-Net 子ども教室アッタくんでは、小学生と大学生、さらに地域の方々という普段の生活ではなかなか関わるることができないような交流を実現している。子どもたちにとって先生とも、親とも違った、お兄さん、お姉さんと遊ぶことや地域の方との交流は新しいことの連続であり、いい刺激を与えられているのではないかと。また、学生にとって本事業を通し考え、学ぶことは多く、多くの地域住民からのご協力のもと、日々努力することができ、それによって活動を展開することができた。

毎週木曜日放課後から 17 時まで 39 回運営。年間約 442 人参加

場所：B-Net 子どもセンター 平均：11 名参加（令和 3 年度は平均 8 名）

《活動写真》



○新・放課後子ども総合プラン 酒々井町放課後子ども教室

新・放課後子ども総合プランとは放課後に子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進するため、各区市町村において、文部科学省の「放課後子ども教室推進事業」と、厚生労働省の「放課後児童健全育成事業（児童クラブ）」を一体的あるいは連携して実施する、総合的な放課後対策事業のことで地域の方々からのご協力を得て、勉強やスポーツ、文化活動を行い、他学年の児童や地域住民との交流などを目的とした活動である。

平成 19 年 10 月から酒々井町で放課後子ども教室事業が始まった。平成 20 年より町から委託され、企画・運営を行ってきた。

放課後子ども教室には地域で子どもを育てる社会教育の役割がある。地域の方を中心とした安全監視指導員と学生スタッフの併存した教室運営により、社会教育に厚みをもたせ、保護者、児童どちらのニーズにも広く対応することができた。さらに、今年度も地域の方々にたくさんの教室を開いていただき、充実した体験活動を提供することができたと思う。

4 年度は新型コロナウイルスが落ち着いたこともあり、通年にわたって開催された。アルコール消毒や検温、マスク、パーテーションなど様々な感染対策を行いながら、子ども達の安全を確保できるような形で実施した。

今後も子どもたちに様々な体験・経験をしてもらえるよう、またより充実した放課後の時間の提供に尽力し、さらに安全に配慮しながら運営していきたい。

9 月 22 日(木)には、千葉県令和 4 年度「新・放課後子ども総合プラン」指導スタッフ等研修会(オンライン研修)において実践発表をした。

例年、放課後子ども教室参加者(子ども、保護者、教職員、指導員)を対象にしたアンケートを実施していたが、コロナ禍で十分できない状態が続いていた。令和 4 年度は放課後子ども教室便りにアンケートの QR コードを記載し回答を募ったところ、両校合わせて 2 件しか回答が得られなかった。

【活動日時・場所】

- 酒々井小学校（主に体育館・ランチルーム・多目的ルーム）
毎週火曜日放課後～午後 16 時 30 分まで（11,12,1 月は 16 時まで）
- 大室台小学校（主に体育館・大ちゃんルーム・校庭）
毎週月曜日放課後～午後 16 時 30 分まで（11,12,1 月は 16 時まで）

小学校	内 容
酒々井小学校	開催日数 30 回、参加人数のべ 1268 人 折り紙教室、書道教室、篠笛・昔遊び教室、スクエアダンス教室、将棋教室、マジック教室、体操教室
大室台小学校	開催日数 18 回、参加人数のべ 651 人 卓球教室、折り紙教室、書道教室、篠笛・昔遊び教室、スクエアダンス教室、将棋教室、マジック教室、体操教室

<町づくり等事業>

○B-Net 子ども食堂

昨年度に引き続き今年度も、B-Net 子ども食堂を B-Net 子どもセンターを開催場所として行った。実施の背景として、近年の子どもの貧困化、それによる子どもの孤食問題がある。これらの問題の解決のため 2012 年より、子ども食堂は全国で急激に増加しており、子どもの貧困問題は酒々井町も例外ではない。しかし、酒々井町に子ども食堂はなかった。そこで、酒々井町の貧困層の子どもたちに温かく人と食べる食事を届けるべく、B-Net 子ども食堂を実施した経緯である。

実施日が原則第 1・3 金曜日の月二回とし、祝日は休みとした。実施形態は原則テイクアウトの形を取り、密にならないように心掛けた。食事代は、子どもは無料、大人は 200 円とした。

令和 4 年度は、酒々井町社会福祉協議会、さかえ・しすいワーク・ライフサポートセンターをはじめとする地域の方々から、食材の提供をしていただくことができた。また、5つの団体から助成金を受取ることができた。この助成金により、食材費が確保でき、B-Net の設備(ガス、湯沸かし器、炊事道具など)が改善された。

4 年度は、地域の方の割合も増え、少しずつ酒々井町の人々への認知が広がってきたのを感じた。しかし、本来の目的である、必要とする子どもへの食の提供がなされているかどうか分からないのが現状である。外見で判断することは非常に困難であり、必要とする子どもたちに B-Net 子ども食堂の情報を確実に届けていくことが課題としてあげられる。

次年度も酒々井町の子どもに安心して温かいご飯を食べることのできる一つの場所となるように B-Net 子ども食堂を続けていきたい。

- 4/15 さかえ・しすいワークライフサポートセンターから
無糖練乳 411 g 缶×15、焼海苔 30 枚入 1 袋、轟太鼓(せんべい)1 袋、海老煎 2 袋、大豆煎餅 1 袋
おさつチップス 1 袋、ミニゴーフル 1 箱、フヤージュ(焼菓子) 1、干しブドウ 1 袋
トルティーヤチップス 2、ジンジャーエール缶 1、餅太郎 1、ベジタル 4
麻婆豆腐ソース 1、新茶パック 5、練りごま 1、おととつと小袋 7、サッポロポテト 4
 - 5/26 さかえ・しすいワークライフサポートセンターからサラダ油を頂く。
 - 6/7 農家の方から、ニンジン段ボール 3 箱いただく
 - 9/14 さかえ・しすいワークライフサポートセンターから Asahi 梅干しキャンディ 6 袋入り 3 箱、
カルピスタブレット 6 月分箱を頂く。
 - 11/24 さかえ・しすいワーク・サポートセンターから、お酢 900 ml 2 本、春雨 2 袋、小麦粉 700 g 1 袋、紅ショウガ 150 g 12 袋を頂いた。
 - 12/16 子ども食堂に来る高齢者の方 3 人から子どもたちにお菓子 3 袋いただく
 - 12/22 八街の方からお米 10Kg をいただく
 - 1/6 酒々井町社会福祉協議会からお米 50 キロ、お菓子をいただく
 - 1/12 花沢さんから寄付 500 円
 - 1/28 根古谷 石渡さんからニンジン 1 箱いただく
 - 3/17 酒々井町社会福祉協議会からお菓子(ゼリー、クッキーなど)いただく
- ※健康福祉課人権推進室 子ども家庭支援員 阿部利勝様から 9 月から毎月寄付金 1000 円いただいた。

令和4年度の子ども食堂の状況

回数	子ども	大人	合計	食事代	スタッフ
24回	399人	396人	795人	115835円	164人

収入合計 1,223,335円	支出合計 1,194,098円
助成金 1,100,000円	助成金 1,100,000円
食事代 115,835円	食材費 294,000円
寄付金 7,500円	消耗品 16,125円
収支 29,237円	
○助成金内訳	
キューピー未来財団助成金 27万円	
子どもの居場所づくり応援事業助成金 10万円	
むすびえ・こども食堂基金助成事業(2022年度7-12月) 20万円	
歳末たすけあい助成金 3万円	
県補助金 50万円	

○エコトピア酒々井（特別養護老人ホーム）での健康体操教室

エコトピア酒々井で例年毎月1回のペースで健康体操教室を行ってきた。しかし、新型コロナウイルスの影響で今年度も一度も開催することができなかった。今後はオンラインでの開催等を視野に入れながら、工夫して「心と体の健康」を増進していくプログラムを考えていきたい。

○イオン黄色いレシートキャンペーン（成田イオン）

黄色いレシートキャンペーンとは、イオンデー（毎月11日）にイオンで買い物をする際に出る黄色いレシートを登録している団体のボックスに投函すると、総額の1%がその団体に贈られるというものである。新型コロナウイルスの影響で、店頭での活動は一度も行うことができなかった。しかし、9月に4年度前期分12,600円いただき、翌年度4月に後期分13,900円をいただいた。前期分はアツタくんでの遊び用具、文房具を購入し、後期は文房具などを購入した。